

日本福祉文化学会

『子ども食堂を考える会』（仮称）発足について☆

令和元年9月

発足趣旨

近年、多様化する生活スタイルに伴い、貧困や虐待の問題も含めて、生きづらさを抱えて暮らす子どもが居ます。そのような子どもたちがイキイキと将来に希望を持って生活していくために、わたしたちにできることは何でしょうか。学校や家庭以外の子どもの居場所（サードプレイス）をつくり、子どもの育ちを“地域で支えていく” 子ども食堂の活動について、研究者および実践者とともに福祉文化の視点で考える部会です。（参考：子ども食堂は3,700ヶ所あると言われている 2019.6NHK ニュース）

対象：子ども食堂に興味のある、興味のない

「日本福祉文化学会の会員」どなたでも。
未入会の方はぜひ入会をお薦めします☆



活動：インターネット、メールを活用してのやりとりを主に、実践や研究を情報提

供。年に一、二回は東京および大阪で会議および地方の現地視察を検討。

*活動は学会ホームページに新設する「子ども食堂を考える会」サイトで随時紹介。

将来的な展望：日本福祉文化学会版の『子ども食堂パンフレット』を作成。

⇒事例や運営方法、トラブル対応集等々を盛り込む計画。

そして、みんなで『福祉文化実践学会賞』の受賞をめざしましょう！

興味がある方は、好きなオニギリの具材を含めて下記まで連絡ください。（随時募集）



【連絡先：発起人】

広報お手伝い 稲田（好きな具材は焼き鮭）

✉ [iwrx.17 あっと gmail.com](mailto:iwrx.17@attogmail.com)

（あっとを@に変換ください

iwrx のあとに『.』 ←どっとが入ります。）